

■ICT(情報通信技術)を国民生活や経済社会活動に密着する国土交通分野において最大限に利活用することにより、国民生活の質の向上、経済成長の実現が可能。

イノベーションのブレークスルーとなる共通基盤の構築（第2章）

■イノベーションの推進のためには、個々の分野におけるICT化の推進に加え、様々な主体が多様な応用に使える汎用性の高い共通基盤の構築が重要。

■これらをスピード感を持って整備することで、社会経済の幅広い分野においてイノベーションが次々に生まれてくる環境を構築。

■共通基盤の代表例としては、

①地理空間情報基盤、②ヒト・モノ・クルマや場所と情報を結びつける基盤、③国土交通省が保有しているネットワーク基盤

■これらの中核的な要素は一体的に整備される必要。また、これら新技術・システムは世界への発信を意識した戦略が必要。

共通基盤の構築と一体的に進める重点プロジェクト6（第3章）

■国土交通省が特に力を入れていくべき観点から重点プロジェクトを選んだもの。これらは共通基盤の構築と一体的に進めて行く必要。

①いつでも、どこでも、だれでも、その場で必要な情報にアクセスできる社会の実現

②防災先進社会の構築

③テロ対策技術の高度化による安全の確保

④物流サプライチェーン全体の効率化・安全性向上

⑤ITSを活用した世界一安全な道路交通の実現

⑥東アジア共通IC乗車券の実現

国土交通分野の将来像と今後の戦略（第4章）

■国土交通省として今後進めていく具体的なICT化プロジェクトを、以下の9分野に分けて取りまとめたもの。

1. 誰もが円滑に快適に移動できるモビリティ社会の実現

2. 効率的、安全で環境に優しい物流の実現

3. 世界一安全でインテリジェントな道路交通社会の実現

4. 災害時への備えが万全な防災先進社会の実現

5. 良質で豊かな生活環境の実現

6. テロ・大規模事故ゼロ社会の実現

7. 知恵と工夫にあふれた活力ある地域社会の実現

8. ホスピタリティあふれる観光先進国の実現

9. 社会資本整備・管理の効率化、生産性の向上